

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名) 経営学(The Basic business Management)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式 対面																								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																										
選択	2	1,2	経済学研究科 博士前期課程	前期	火7	氏名 藤原 直樹 E-mail nfujwara@oita-u.ac.jp 内線 7675																										
授業の概要	大学院で経営学関連科目を履修する際に最低限必要となる経営学の基礎的知識を身につけることをねらいとしています。																															
具体的な到達目標											DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
目標1	経営学関連の科目において、講義内容を理解し、ディスカッションに加わることができるように目指します。																															
目標2																																
目標3																																
目標4																																
目標5																																
目標6																																
目標7																																
目標8																																
目標9																																
目標10																																
授業の内容																																
1	マニファクチュアの重要性																															
2	分業とは何か																															
3	分業とは何か																															
4	分業とは何か																															
5	協業の展開																															
6	協業の展開																															
7	協業の展開																															
8	協業の展開																															
9	補論.経済学(マルクス経済学)の基本概念																															
10	補論.経済学(マルクス経済学)の基本概念																															
11	管理という概念																															
12	管理という概念																															
13	管理という概念																															
14	総括																															
15	総括																															
ラーニング	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造					体系的な理解を心がけてください。					工夫 その 他の	体系的な講義を展開します。																				
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修	テキストの精読(30h)。																														
	事後 学修	テキストの確認(15h)。																														
教科書	アダム・スミス『国富論』第1巻、中公文庫 カール・マルクス『新版 資本論 3』(第一巻 第三分冊)、新日本出版社																															
参考書	適宜、講義中に示します。																															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10																				
	授業中の議論の内容	50%																														
	報告・レポートの内容	50%																														
注意事項	この講義は学部等で経営学関係科目を履修したことがない大学院生を対象にしています。																															
備考																																
リンク																																
	URL																															

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
		経済学(The Basic Economics)						対面									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	1	経済学研究科 博士前期課程	前期	月7	氏名 高見 博之 E-mail htakami@oita-u.ac.jp 内線 7674											
授業の概要	経済学の基礎をマスターしていない社会人に対して、ミクロ経済学、マクロ経済学の基礎を講義する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 経済学の基礎をマスターする。																	
目標2																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 経済学とは																	
2 分業の利益																	
3 需要と供給																	
4 価格メカニズム																	
5 市場の効率性																	
6 市場の失敗																	
7 市場の限界																	
8 労働市場																	
9 GDPとは																	
10 GDPの決定要因																	
11 消費と投資																	
12 貨幣と金融																	
13 政府の役割																	
14 外国貿易と為替レート																	
15 経済成長																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	・毎回、理解度を確認する「小レポート」を実施します。 ・「小レポート」の用紙に、講義内容を振り返るため毎回の講義のキーワードと講義内容についての質問を記載し提出してもらい、次回以降の講義で回答します。					工夫	その他の									
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	テキストの予習(1回 2h)															
	事後学修	練習問題などによる理解の確認(1回 1h)															
教科書	『1からの経済学』中谷武・中村保 編著(碩学舎)																
参考書	講義中の議論とレポートを総合的に評価する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	レポート	100%															
注意事項	経済学のバックボーンがなく、経済学の入門科目「初級マクロ経済学」「初級ミクロ経済学」を履修出来ない社会人学生を中心に講義を行う。																
備考																	
リンク																	
	URL																